

令和2(2020)年度 江戸川区立松江小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	「かがやき」 かいっぱい笑顔いっぱい松江の子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	目指す学校像・明日登校するのが待ち遠しい学校 目指す児童像・よく考える子・思いやりのある子・健康な子 目指す教師像・子供たちの明日を考えた指導ができる教師							
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ○問題解決学習や探究的な学習を基盤にした授業改善 ○校内研究による学校図書館活用の充実 <課題> ○基礎・基本の定着や更なる学力向上 ○小中連携スタンダードを基にした指導の徹底									
教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	中学教員による陸上指導、中学生読み聞かせ、授業公開による教員研修、小中連携スタンダードに基づく生活指導の重点期間各学期1回	陸上指導年間1回、読み聞かせ1回、授業公開1回。健康生活カードの小中連携スタンダードの項目による「健康貯金」70点を超える児童が70%。	B	B	感染症対策のため、陸上指導・読み聞かせ・授業公開が実施できなかった。健康カードの70点70%は達成できたが、休学中にリズムを揃す児童も目立った。連携校であゆみの統一を図った。	B	今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で計画通りできなかった部分が多いと思うが、小中連携スタンダードの取り組みは継続して行うことができていて良いと思う。	オンラインでの連携協議会開催や連携方法の模索、連携プログラムの見直しを行う。
	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT補習教室の実施、教員ICT研修年3回実施、校内研修年間8回実施	高学年のPCによるプレゼン作成、おたのしみPC教室年間6回、教員の各教科におけるICTを活用した授業の実践	B	B	プレゼン作成やお楽しみ教室など、児童への指導は例年通り行い充実させてきている。コロナ禍により、研修が8回実施できなかった。	B	実際に授業を見学することはできなかったが、校内における研修の報告を聞いたり、東京都のタブレット貸出し等も積極的にやっていることを聞いたり、学校が努力を重ねているので良いと思う。	ICT研修を中心に、次年度の研修計画の作成と、見直しを行う。
教員の資質向上	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援学級との交流及び共同学習の充実、高学年児童のスクールカウンセラーと児童の面談実施、エンカレッジルームの活用	Q-U結果において、要支援群の割合減少、特別支援(インクルーシブ教育)への十分な理解	B	B	特別支援学級との交流及び共同学習がコロナ禍により実施できなかった。Q-Uの要支援群の割合は減少傾向にある。	B	特別支援学級が併設されている利点を生かし、通常学級との交流を推進していることはよく理解できる。来年度状況が改善して交流が深められることを期待している。	Q-U結果の活用方法を再検討する。
	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習年間35回の実施、学力アップタイムの計画的な実施、学びのスクールの実施、完全習得計画の立案によるきめ細やかな支援	国学力調査・都学力調査…区平均を上回る、ベネッセ学力調査を実施・分析結果の周知	B	B	国学力調査・都学力調査が中止となった。ただ、問題用紙を使用して独自で試験を実施し、結果の考察と保護者への周知を実施した。ベネッセ学力調査を実施し、保護者への周知を行った。	A	国や都の学力調査は実施されなかったが、完全習得事項を全校で設定し、特に低学年の繰り下がりの引き算や掛け算九九の習得に力を入れているのは素晴らしいと思う。	ベネッセ学力調査の結果の考察と、次年度への引き継ぎ。
いきいきと学ぶ教育の充実	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	昨年度の研究を生かした各教科との横断的な指導計画・学校図書館の計画的な使用	高学年児童の調べる学習コンクール出席率70%、学校図書館を利用した調べ学習の年間10回以上の実施	B	A	調べる学習コンクールへに向けた指導と出品率70%を実現した。読書指導の充実をさらに深めたい。	B	昨年度までの校内研究の取り組みを継承し、学校図書館を計画的に利用し、問題解決型の学習に取り組んでいることが素晴らしいので、今後も継続してもらいたい。	学校図書館の整備と読書指導の充実に向けた計画。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間を活用した運動遊びの全校実施。体力向上に向けた全校取組。	体力調査において江戸川区の平均値を上回る。運動遊びが年間35回、体力向上に向けた取組年間3回実施。	B	B	体力調査の中止や全校取り組みの制限などがあり十分に実施できなかった。ただ、なわとびの取組を充実させたり、外遊びを併行したり、できる限りの取組を工夫して行うことができた。	A	感染症対策の制限がある中で、従来から行っている「なわとびアタック」を充実させ、児童の運動能力の向上を図った取り組みは素晴らしいと思う。	次年度に向けた、体力向上に向けた取組の計画を見直す。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	マラソン、なわとびアタック、生活リズム向上習慣、オリパラ掲示板の充実、オリパラ観戦。	マラソン・なわとび年間各4週間、オリパラ掲示板の学期ごとに工夫した掲示、オリパラ観戦によるオリパラへの関心の高まり。	B	B	オリパラの特別講演会を実施し、児童に諦めずに乗り越える気持ちの醸成につなげた。オリパラ掲示板の更なる活用や計画の見直しを行う必要がある。	B	5年生・6年生において元パラリンピアンとの交流が実施できたことは良かったと思う。今後取組の情報を積極的に発信してほしい。	オリパラ掲示板の活用方法の見直し、特別講演の各学年での実施を計画していく。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	授業力向上に向けた教員研修の実施、年間指導計画の見直しによる実態に応じた指導、ALTによるネイティブの発音に	学年の実態に応じた簡単な英語を使ったコミュニケーションができる児童が各学級70%	B	B	英語指導の教員研修会を実施、年間指導計画を見直した。コミュニケーションを生かした授業の計画を行ったが、コロナ禍で実施できないものもあった。	B	外国語に関しては楽しく取り組んでいるという話をよく聞く。今後中学校へ向けてスムーズに移行していけるように配慮してもらい	教員研修の計画と、年間指導計画の見直し。

			触れる機会の充実						たい。	
--	--	--	----------	--	--	--	--	--	-----	--